

中学生の主体的な取組の紹介2

～「スマホ・ネット問題」へ向き合うシリーズ～

美勝英地区『MIMASAKAスマホ会議』の紹介

8月19日（水）作東バレンタインプラザにおいて、美勝英地区・8中学校の生徒会が集まり『第2回生徒会サミット』が開催されました。『第1回生徒会サミット』（H27.3）を受けて、美勝英地区の各校生徒会の主体的な取組が報告されました。その中から今回はサミットを中心とする『MIMASAKAスマホ会議』について紹介します。

【MIMASAKAスマホ会議】の概要

- 奈義中：「親子で語るスマホ討論」
- 美作中：「スマホサミットから考える 美作中学校の取組」
- 英田中：「スマホアンケート結果と家庭学習充実ウィークの取組
～今までとこれから～」
- 西粟倉中：「ノーメディア週間の取組」
- 作東中：「スマホ集会をしました！」
- 勝田中：「スマホ宣言 at 勝田中」
- 勝央中：「ここからスタート！ 生徒会としてどう取り組むか？」
- 大原中：「『スマホ』について考えた！」



「スマホ・ネット問題」に対する主体的取組として、「アンケートの実施」「集会」「ポスター」等は多くの学校で実施済みでした。更に、実態や課題に応じて「親子討論会」「家庭学習の充実」等活動の幅が広がっています。生徒自身がしっかりとした課題の分析を行い、自分たちの問題として捉え、自分たちの提案によって解決へ向かうことに意義と可能性を見出していました。

各校発表の様子



運営・発表等全てを生徒たちが行う姿が頼もしく映りました。多くの学校が月1回の「生徒集会」を定例化しており、主体的な活動を支える仕組みのもとに、生徒たちは取り組んでいます。また、意見交換では他校の優れた取組を自分化する視点が次々と出され、お互いに共鳴し合う姿が大変素晴らしかったです。最後に全員が手をつなぎ、「わ」になって各校の校歌を互いに紹介しました。生徒たちは「一人では難しいことは、みんなでやればできる」ことを実感し始めた様子でした。